

令和6年度（2024年度）

学 生 募 集 要 項

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

人 文 社 会 学 部	国際法政学科 人間社会学科	
教 育 学 部	琉球アジア文化学科 学校教育教員養成課程	小学校教育コース 特別支援教育コース
理 学 部	物質地球科学科 海洋自然科学科	
医 学 部	医学科 保健学科	
工 学 部	工学科	



令和 5（2023）年 9 月

琉球大学

願書提出期限 11月4日（土）17:00必着

実施方法等に変更が生じた際には、本学ホームページにて速やかにお知らせします。

問 い 合 わ せ 先 一 覧

事 項	問い合わせ先	電 話 番 号
大学入学共通テストに関すること	大学入試センター事業第一課	03-3465-8600
インターネット出願サイトに関すること	志願受付操作サポート窓口	0120-752-257
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	098-895-8141 098-895-8142
	人文社会学部学務係	098-895-9056
	教育学部学務係	098-895-9030
	理学部学務係	098-895-8595
	医学部学務課入試・学事係	098-895-1032
	工学部学務係	098-895-8583
入学料，授業料の <u>納付</u> に関すること	財務部経理課収入・支出係	098-895-8058
入学料，授業料の <u>免除</u> に関すること	学生部学生支援課学生援護係	098-895-8135
奨学金に関すること	学生部学生支援課奨学係	098-895-8136
障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮等に関すること	障がい学生支援室	098-895-8750
学生寮（千原寮）に関すること	学寮事務室	098-895-8101 098-895-8133

※お問い合わせは，原則として志願者本人が行ってください。

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く） 9：00～17：00

※各名称について，以下のとおり略記することがあります。

大学入学共通テスト：「共通テスト」

学校推薦型選抜Ⅱ：「推薦Ⅱ」

目 次

○令和6年度琉球大学医学部医学科入学定員について	1
○令和6年度工学部工学科『総合型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱの「女子枠」導入について』...	2
1. 琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	4
2. 試験日程等	5
3. 募集人員及び推薦人員	6
4. 出願要件・選抜方法等	8
5. 実施教科・科目等及び配点	30
6. 教育学部音楽教育専修 実技検査等実施方法	37
7. 試験日時及び試験場	41
8. 出願手続	42
9. 受験票	46
10. 入学検定料の払込	46
11. 災害等による入学検定料の特例措置	47
12. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	48
13. 受験に関する注意事項	49
14. 入学手続	51
15. 入学前教育	52
16. 個人情報の利用等	52
17. 入試情報開示に関する事項	53
◎参考情報	61
◆ノートパソコン等の必携化について	61
◆学生寮（千原寮）への入寮申し込みについて	61
◆琉球大学生生活協同組合（消費生活協同組合法に基づく団体）によるお知らせ	61
○出願書類等一覧	
出願書類等の記入上の注意	

令和 6 年度琉球大学医学部医学科入学定員について

医学部医学科は、地域の医師確保等の観点から、政府の基本方針に基づき、下記のとおり暫定的に入学定員を合計 12 名増員しました。

- 平成 21 年度から平成 31 年度まで「緊急医師確保対策」に基づき 2 名
- 平成 22 年度から平成 31 年度まで「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき 5 名
- 平成 27 年度から平成 31 年度まで「新成長戦略」に基づき 5 名
- 上記は時限措置であり、令和 2 年度・3 年度の定員については 12 名が減員される予定であったが、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」により臨時定員 12 名が増員
- 令和 4 年度については、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」及び「令和 4 年度の医学部臨時的定員の暫定的な継続について（通知）」により、臨時定員 12 名が増員
- 令和 5 年度については、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」及び「令和 5 年度の医学部臨時的定員の暫定的な継続について（通知）」により、医学部医学科の入学定員 12 名（現状維持）の増員

令和 6 年度については、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」「経済財政運営と改革の基本方針 2019」及び「令和 6 年度の医学部臨時的定員の暫定的な維持について（通知）」により、医学部医学科の入学定員 12 名（現状維持）の増員を申請します。

本申請が文部科学省で認可された場合（9 月以降予定）、公式ホームページ等で公表します。

令和 6 年度 申請が認められた場合

学部・学科	募集人員
医学部 医学科 <u>112名</u>	学校推薦型選抜Ⅱ ・ <u>地域枠 14名程度</u> ・ <u>離島北部枠 3名程度</u>
	前期日程 70名
	後期日程 25名

※申請が認可された場合は、令和 6 年度医学部医学科の入学定員は令和 5 年度と同数の 112 名になります。
※申請が認可されない場合は、令和 6 年度医学部医学科の入学定員は 100 名です。

令和 6 年度工学部工学科 『総合型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱの「女子枠」導入について』

全国的に理工学系学部における女子学生比率は低く、本学工学部においても最近 5 年平均の女子学生の比率は約 11% の状況にあります。それは、従来の工学部は「男性特有の専門を学ぶ学部」のイメージがあったことが原因のひとつと考えられます。しかしながら、工学は、ものづくりやまちづくりのために必要な専門能力を習得した技術者の育成から、専門能力に加え、多様な高度社会に貢献するために必要な広い視野での思考力、柔軟な創造力および多様な人々と協働するための高いコミュニケーション力を備えた技術者を育成する工学へと変化しています。このような変化に対応するために、女子学生のより積極的な受験を促すことをねらいとして「女子枠」を導入します。

求める学生像は、一般枠同様に「工学を学ぶ意欲と十分な基礎学力」、「幅広い視野での思考力と柔軟な創造力」、「多様な人々との高いコミュニケーション力」の資質をもった人ですが、さらに「女子枠」では、男性技術者が多く占めてきた工学分野において、新たな発想やイノベーションを生む人材や多様な人々が活躍する社会に貢献できる人材を求めています。なお、「女子枠」は、新たな発想やイノベーションを生む人材が求められている「ものづくり設計」、「環境工学」および「持続可能な都市デザイン」の専門コースである「機械工学コース」、「エネルギー環境工学コース」、「社会基盤デザインコース」の総合型選抜Ⅰと学校推薦型選抜Ⅱに導入します。

この「女子枠」導入により、工学部への入学生全体の教育の質を大幅に向上し、多様で高度化する社会に貢献する技術者の育成を促進します。

●募集人員

工学部工学科 総合型選抜Ⅰにおける募集人員（女子枠導入）

コース名	総合型選抜Ⅰ		
	令和5年度	令和6年度	
	一般枠	一般枠	女子枠
機 械 工 学	6	3	3
エネルギー環境工学	10	5	5
電気システム工学	2	2	—
電子情報通信	4	4	—
社会基盤デザイン	5	3	2
建 築 学	2	2	—
知 能 情 報	7	7	—
計	36	26	10
合 計	36	36	

●募集人員

工学部工学科 学校推薦型選抜Ⅱにおける募集人員（女子枠導入）

コース名	学校推薦型選抜Ⅱ				
	令和5年度		令和6年度		
	一般枠	専門高校 卒業生枠	一般枠	専門高校 卒業生枠	女子枠
機 械 工 学	9	2	5	2	4
エネルギー環境工学	5	2	3	2	2
電気システム工学	8	1	8	1	—
電子情報通信	6	1	6	1	—
社会基盤デザイン	8	2	4	2	4
建 築 学	9	1	9	1	—
知 能 情 報	11	3	11	3	—
計	56	12	46	12	10
合 計	68		68		

1. 琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

平成29年2月9日
制 定

（1）琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は、「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下，「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の4つを目指し人材を育成します。

- ①豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
- ②優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
- ③外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
- ④地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

（2）求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

- ①高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- ②異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- ③自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

（3）入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な選抜方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については，
各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
（ <https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/> ）をご覧ください。

2. 試験日程等

入学願書受付期間 (出願書類提出期間)	11月1日(水)～11月4日(土) <u>17:00 必着</u>
試験日	12月6日(水)
共通テスト	令和6年1月13日(土)～1月14日(日)
合格発表	令和6年2月9日(金) 15:00頃
入学手続	令和6年2月13日(火)～2月19日(月)

【合格者の発表】

合格者の発表は、本人宛てに合格通知書と「入学手続案内」を郵送するとともに、高等学校等の長あてにも選考結果を通知します。

また、本学ホームページ(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/successfulapplicants/>)にも掲載します。なお、電話による可否の問合せには一切応じません。

【入学手続案内】（「14. 入学手続」参照）

入学手続書類は、合格通知書と入学手続案内（入学手続書類）本人あてに郵送します。

3. 募集人員及び推薦人員

学部名	学 科 等			募集人員	推薦人員		
人文社会学部	国 際 法 政 学 科			16名	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内		
	人 間 社 会 科	哲 学 プ ロ グ ラ ム		5名	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内		
		心 理 学 プ ロ グ ラ ム		8名	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき5名以内		
		社 会 学 プ ロ グ ラ ム		8名	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内		
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科			6名	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内		
	計			43名			
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻	10名 ① 沖縄県内地域指定推薦2名 ② 一般推薦8名	①1 高等学校等（定時制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。 ②1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
				※①沖縄県内地域指定推薦と②一般推薦の両方に同一人物を推薦することはできません。			
				教科教育専攻	国語教育専修	2名	各専修とも1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。
					社会科教育専修	2名	
					数学教育専修	2名	
					理科教育専修	2名	
					音楽教育専修	2名	
					美術教育専修	2名	
					保健体育専修	2名	
					技術教育専修	2名	
	生活科学教育専修	2名					
英語教育専修	2名						
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	2名				
計			32名				
理学部	物質地球科学	物 理 系		5名	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
		地 球 環 境 系		3名	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
	海洋自然科学	化 学 系		10名 うち専門高校卒業生枠3名程度	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
		生 物 系		1名 水産に関する学科のみ	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
	計			19名			

学部名	学 科 等		募集人員	推薦人員
医学部	医 学 科		5名 (注)	1 高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)につき3名以内
	保 健 学 科		9名 うち専門高校・総合 学科卒業生枠1名	1 高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)につき2名以内
	計		14名	
工学部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	11名 一般枠 5名 専門高校卒業生枠 2名 女子枠 4名	1高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)の長が推薦できる人数は、制限しません。
		エ ネ ル ギ ー 環 境 工 学 コ ー ス	7名 一般枠 3名 専門高校卒業生枠 2名 女子枠 2名	
		電 気 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	9名 うち専門高校卒業生枠 1名	
		電 子 情 報 通 信 コ ー ス	7名 うち専門高校卒業生枠 1名	
		社 会 基 盤 デ ザ イ ン コ ー ス	10名 一般枠 4名 専門高校卒業生枠 2名 女子枠 4名	
		建 築 学 コ ー ス	10名 うち専門高校卒業生枠 1名	
		知 能 情 報 コ ー ス	14名 うち専門高校卒業生枠 3名	
計		68名		
合 計			176名	

注：医学部医学科の募集人員については、1ページを参照してください。

4. 出願要件・選抜方法等

実施学部・学科等	人文社会学部 国際法政学科
募集人員	16 名
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(6教科6科目又は6教科7科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世B, 日B, 地理Bから1) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) ・数(数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) <ul style="list-style-type: none"> ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 ・調査書
	<p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	人文社会学部 人間社会学科
募集人員	哲学プログラム 5名
	心理学プログラム 8名
	社会学プログラム 8名
出願要件	次の(1)～(3)又は(4)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評がA又はAに属する者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき令和6年3月31日までに18歳に達するもの
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。 ただし、共通テストの合計点が50%に満たない場合は不合格とします。 ○共通テスト利用教科・科目 (5教科6科目若しくは5教科7科目)又は(6教科6科目若しくは6教科7科目) ・国 (国) ・地歴(世B, 日B, 地理Bから2) ①※ ・地歴(世B, 日B, 地理Bから1) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) } ②※ ※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 ・数(数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) 又は (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接 ・調査書
	備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	人文社会学部 琉球アジア文化学科
募集人員	6名
出願要件	次の(1)～(3)又は(4)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目(6教科6科目又は6教科7科目) ・国(国) ・地歴(世B, 日B, 地理Bから1) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) ・数(数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) 又は (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接 ・調査書
	備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻	
募集人員	沖縄県内地域指定推薦 2名	一般推薦 8名
出願要件	<p>いずれの推薦枠も、高等学校等の長が次の件について人物および能力等に責任を持って推薦できる者とする。</p> <p>(1) 学習成績が優秀で、小学校教員として活躍する強い意欲およびそれにふさわしい資質を持つ者</p> <p>(2) 児童の育成に熱意をもってあたり、地域の教育の担い手として活躍できる者として認めることができる者</p>	
	<p>次の(1)～(5)又は(6)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 沖縄県北部地域(大宜味村, 今帰仁村, 本部町, 名護市, 宜野座村)ならびに沖縄県内離島地域(宮古島市, 石垣市, 久米島町)に所在する高等学校(通信制の課程を含まない)を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(4) 将来沖縄本島北部地域ならびに離島地域における小学校教育活動に貢献する強い意志がある者</p> <p>(5) 合格した場合には、入学することを確約できる者</p> <p>(6) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>	<p>次の(1)～(4)又は(5)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(3) 将来小学校教育活動に貢献する強い意志がある者</p> <p>(4) 合格した場合には、入学することを確約できる者</p> <p>(5) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の50%以上の者で、個別学力検査等の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目 (5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世B, 日B, 地理B) } から1 ・公民 (現社, 倫・政経) } ・数 (数Ⅰ・数A) } から1 (数Ⅱ・数B) } ・理 (物基, 化基, 生基, 地基から2) 又は (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の50%以上の者で、小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目又は5教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から2） <p style="text-align: center;">又は</p> <p style="text-align: center;">（物理，化学，生物，地学から1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・口頭試問を含む面接
	<p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 社会科教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の50%以上の者で、小論文と面接の成績を中心に、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目又は5教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から2） <p style="text-align: center;">又は</p> <p style="text-align: center;">（物理，化学，生物，地学から1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p style="text-align: right;">} から1</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接
	<p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 数学教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。ただし、共通テストの成績が合計点の60%に満たない場合は不合格とします。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目又は5教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注1） ・理（物基，化基，生基，地基から2） <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から1） ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）を含む面接（注2） <p>備考</p> <p>（注1）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p> <p>（注2）：口頭試問の出題範囲については、数学（甲）の出題範囲と同じとする。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 理科教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストおよび面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目又は5教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から2） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から1） ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接 ・調査書
	<p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。ただし、共通テストの成績が合計点の50%に満たない場合は不合格とします。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国(国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地学から2) <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技検査(「A ピアノによる弾き歌い」・「B 選択実技」) ※実技検査等実施方法については、37ページ参照 ・事前提出(「B 選択実技」のみ) 提出送付期限: 11月22日(水) 17:00(必着) 消印有効ではありません。 ※実技検査(「B 選択実技」)実技動画の撮影及び提出の方法については、38～40ページ参照 ・小論文 ・口頭試問を含む面接
	<p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地学から2) <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p style="text-align: right;">} から1</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接
	<p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書、志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考します。</p> <p>ただし、共通テストの成績が合計点の45%に満たない場合は不合格とします。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目又は5教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から2） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から1） ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書
	<p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が3.5以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績と面接(口頭試問を含む)の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国(国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接 ・調査書
	<p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 生活科学教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国(国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p style="text-align: right;">} から1</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・口頭試問(家庭総合)を含む面接 ・調査書
	<p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.2以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の55%以上の者で、面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目又は5教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から2） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から1） ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接（一部英語で行う） ・調査書
	<p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（6教科7科目又は6教科8科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世A，世B，日A，日B，地理A，地理Bから1） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経から1） ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注）〔計2科目〕 ・理（物基，化基，生基，地基から2） 又は （物理，化学，生物，地学から1） ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接
	<p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 物質地球科学科 物理系
募集人員	5名
出願要件	<p>次の(1)～(5)又は(6)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が3.5以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 特に、物理の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>(5) 物理及び数学Ⅲを履修又は履修中の者</p> <p>(6) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(5教科7科目又は5教科8科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世B, 日B, 地理B) ・公民 (現社, 倫, 政経, 倫・政経) } から1 ・数 (数Ⅰ・数A) (数Ⅱ・数B) ・理 (物理) (化基, 生基, 地基から2) [計3科目] 又は (化学, 生物, 地学から1) [計2科目] ・外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 物質地球科学科 地球環境系
募集人員	3名
出願要件	<p>次の(1)～(5)又は(6)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 特に、地学の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>(5) 物理, 化学, 生物, 又は地学(理数科においては, 理数物理, 理数化学, 理数生物, 理数地学)の中から2科目以上履修した者, 若しくは現在履修している者</p> <p>(6) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で, 本学において個別の入学資格審査により, 入学資格認定書の交付を受け, 合格した場合は入学することを確約でき, 令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき, 共通テストの成績, 個別学力検査等の成績, 調査書, 推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(5教科7科目又は5教科8科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世B, 日B, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数 (数Ⅰ・数A) (数Ⅱ・数B) <p style="text-align: right;">} から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理 ※下記の①, ②のいずれかから選択する。 <ul style="list-style-type: none"> ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし, 「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] ・外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接
	<p>備考</p> <p>(注) : 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは, 物理基礎と物理, 化学基礎と化学, 生物基礎と生物, 地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。</p>

*「高等学校等」とは, 高等学校, 高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 海洋自然科学科 化学系
募集人員	10名（うち専門高校卒業生枠3名程度）
出願要件	<p>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 専門高校卒業生枠にあつては工業高等学校および農業高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>（２）特に化学の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>（３）高等学校等での全体の評定平均値が3.5以上で、かつ出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（４）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（3教科5科目又は3教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数Ⅱ） （数Ⅱ・数Ⅲ、簿・会、情報から1）（注）〔計2科目〕 ・理（化学） （物基、生基、地基から2）〔計3科目〕 又は （物理、生物、地学から1）〔計2科目〕 ・外（英、独、仏、中、韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書
	<p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 海洋自然科学科 生物系
募集人員	1名（水産に関する学科のみ）
出願要件	<p>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）の水産に関する学科を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校（水産に関する学科）を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>なお、水産高等学校専攻科在学中又は令和6年3月卒業見込みの者も対象とする</p> <p>（２）特に生物学に強い関心と学習意欲を持ち、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B，日B，地理B） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ・数A） <li style="padding-left: 20px;">（数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注）〔計2科目〕 ・理（物理，化学，生物，地学から2） ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書 ・志願理由書 <p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	医学部 医学科
募集人員	【申請が認可されない場合】 5名
	【申請が認められた場合】 地域枠 14名程度（※出願要件（2）除く） 離島・北部枠 3名程度
出願要件	<p>次の（1）～（5）に該当する者</p> <p>（1）沖縄県に居住し、沖縄県の高等学校等（*）を令和4年4月1日以降に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けた者</p> <p>（2）沖縄県に居住し、沖縄県内離島地域（石垣市、宮古島市、久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村、今帰仁村、本部町、名護市、宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（3）沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり、かつ沖縄県が貸与する奨学金の受給を希望する者</p> <p>（4）人物、学力ともに優れ、健康で、高等学校等における全体の評定平均値が4.3以上の者</p> <p>（5）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>※ 申請が認められた場合、離島・北部枠に該当する高等学校出身者は、地域枠での出願はできません。</p> <p>※ 沖縄県からの奨学金(医師修学資金)の概要 本選抜での入学者全員に対し、沖縄県が学費、生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。入学者は、卒業までの6年間奨学金を受給する必要があります。 大学卒業後は、沖縄県地域枠キャリア形成プログラムのもとで原則として琉球大学病院にて臨床研修医として勤務し、その後は沖縄県知事が指定する医療機関に医師として臨床研修を合せて9～14年間勤務していただきます（うち離島・北部の医療機関に4年間）。この場合、奨学金貸与額の全額の返還が免除されます。 (参考) 沖縄県地域枠キャリア形成プログラム http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2021/04/6fcfef2e033986bd6ce59acb86b619b9-1.pdf)</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理B） ・公民（現社、倫・政経） ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B） ・理（物理、化学、生物から2） ・外（英） <p style="text-align: right;">} から1</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

※「経済財政運営と改革の基本方針 2018」及び「令和6年度の医学部臨時的定員の暫定的な維持について（通知）」による増員申請が認められた場合、申請の結果について、本学ホームページ等で公表します。（1 ページ参照）

実施学部・学科等	医学部 保健学科
募集人員	9名（うち専門高校・総合学科卒業生枠 1名）
出願要件	<p>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）専門高校・総合学科卒業生枠にあつては、高等学校の総合学科を令和6年3月卒業見込みの者で福祉及び看護関係科目を20単位以上履修した者又は履修見込みの者又は看護関係学科を令和6年3月卒業見込みの者</p> <p>（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B，日B，地理B） ・公民（現社，倫・政経） ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B） ・理（物理，化学，生物から2） ・外（英） <p style="text-align: right;">} から1</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書

*「高等学校等」とは、高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	工学部 工学科
募集人員	<p>機械工学コース 11名（うち一般枠 5名，専門高校卒業生枠 2名，女子枠 4名） エネルギー環境工学コース 7名（うち一般枠 3名，専門高校卒業生枠 2名，女子枠 2名） 電気システム工学コース 9名（うち専門高校卒業生枠 1名） 電子情報通信コース 7名（うち専門高校卒業生枠 1名） 社会基盤デザインコース 10名（うち一般枠 4名，専門高校卒業生枠 2名，女子枠 4名） 建築学コース 10名（うち専門高校卒業生枠 1名） 知能情報コース 14名（うち専門高校卒業生枠 3名）</p> <p>※女子枠を設けているコースを志願する女子志願者は，一般枠と女子枠から1つを選択し，出願してください。併願はできません。 ※専門高校生及び卒業生は，専門高校卒業生枠を選択し，出願することができます。併願はできません。</p>
出願要件	<p>次の（1）～（4）又は（5）に該当する者</p> <p>（1）高等学校等（*）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（2）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が3.5以上のもの</p> <p>（3）合格した場合は，入学することを確約できる者</p> <p>（4）専門高校卒業生枠にあつては，工業高等学校，水産高等学校及び商工農高等学校等を令和6年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内のもの</p> <p>（5）高等学校等（*）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>出願を希望する者は，第1志望コースのみ出願することができます。自分の適性や将来に向けて学びたい専門性を考慮し記入してください。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（3教科5科目又は3教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注）〔計2科目〕 ・理（物理） （化基，生基，地基から2）〔計3科目〕 又は （化学，生物，地学から1）〔計2科目〕 ・外（英，独，仏，中，韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書 ・推薦書 ・志願理由書 <p>求める学生像や評価基準等については下記URLよりご確認ください。 （ https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/ ） また，女子枠志願者については，2ページの【令和6年度工学部工学科『総合型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱの「女子枠」導入について』も併せてご確認ください。</p> <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>

*「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

5. 実施教科・科目等及び配点

【共通テストの利用教科・科目名】欄

1. 各学部・学科等共通

- (1) 共通テストの「地理歴史」及び「公民」は、この2教科を同一の試験時間において実施しますが、出題教科としては、それぞれ独立した教科です。
- (2) 「地理歴史」・「公民」及び「理科」の試験時間において2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- (3) 本学が指定している教科、科目以外を第1解答科目としている場合は、その科目を利用できなくなり、出願できません。
- (4) 「理科」の「基礎を付した科目」とは「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指します。また、「基礎を付していない科目」とは「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。同一名称を付した科目、すなわち物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学を選択することは認めません。
- (5) 「英語」は、リーディングとリスニングが一体型となります。

2. 共通テストの利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する共通テストの利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
「地理歴史」・「公民」から1科目を選択する。	<u>「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
「数学」から1科目を選択する。	「数学」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち、高得点の科目を採用します。
「理科」の「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	<u>「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
「理科」の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	①「理科」の「基礎を付した科目」から2科目並びに「基礎を付していない科目」から1科目の計3科目を受験した場合は、「基礎を付した科目(2科目の合計点)」と「基礎を付していない科目」のうち得点の高い方を採用します。 ② <u>「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>

3. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。

4. 外国語「英語」の配点比率について

- (1) 共通テストにおける外国語（英語）の【リーディング】と【リスニング】の配点比率については、原則として全学部「1：1」とし（教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 社会教育専修のみ「3：1」）、その得点合計を各学部等の定める外国語の配点に換算して利用します。
- (2) 【リスニング】を受験しなかった場合の取扱いについては、【リスニング】は0点扱いとし、【リーディング】の得点のみを利用します。
- (3) 受験上の配慮によって【リスニング】受験を免除された者については【リーディング】の得点を利用して換算します。

【前年度の大学入学共通テストの成績利用について】

本学では、令和6年度入学者選抜において、前年度の共通テストの成績は利用しません。

入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名		共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	共通テスト・個別学力検査等の配点等											備考		
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書		志願理由書	配点合計
人文社会学部	国際法政学科	国	国	小論文 面接 調査書	共通テスト	200	100	100	100	100	200						400	共通テストの合計点(800点満点)に1/2を乗じ、共通テストの合計点(400点満点)とする。
		地歴	世B, 日B, 地理Bから1		個別学力検査等							250	300	面接の参考とする	50	面接の参考とする	600	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1		計	共通テストの合計点(800点満点)に1/2を乗じ、共通テストの合計点(400点満点)とする。					250	300	50		1000			
	数理	数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1(注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1																
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)																
人間社会学科	哲学 プログラム	国	国	小論文 面接 調査書	共通テスト	200	*200 (1科目100点)		100	100	200						300	共通テストの合計点(800点満点)に3/8を乗じ、300点を共通テストの合計点とする。調査書は面接の参考にもする。共通テストの合計点が50%に満たない場合は不合格とする。
		地歴	世B, 日B, 地理Bから2①※ 世B, 日B, 地理Bから1		個別学力検査等							300	200	面接の参考とする	200	面接の参考とする	700	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } ②※ ※地歴・公民は, ①②のいずれかを選択する。		計	共通テストの合計点(800点満点)に3/8を乗じ、共通テストの合計点(300点満点)とする。					300	200	200		1000			
	数理	数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1(注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1																
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目若しくは5教科7科目) 又は (6教科6科目若しくは6教科7科目)																
琉球アジア文化学科	国	国	国	小論文 面接 調査書	共通テスト	100	50	50	50	50	100						400	共通テストの合計点(800点満点)に1/2を乗じ、共通テストの合計点(400点満点)とする。調査書は面接の参考にもする。
		地歴	世B, 日B, 地理Bから1		個別学力検査等							300	300	面接の参考とする	100	面接の参考とする	700	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1		計	100	50	50	50	50	100	300	300	100		1100		
	数理	数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1(注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1																
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)																

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	共通テスト・個別学力検査等の配点等												備考	
	教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書		配点合計
教育学部 小学校教育 コース 学校教育専攻	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 } 数I・数A } から1 数II・数B } 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	小論文 面接	共通テスト	100	*100	100	100	100						(500)	共通テストの成績が合計点の50%以上の者で、個別学力検査等の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。	
				個別学力検査等							100	100	面接の参考とする				200
				計	共通テストの成績は資格審査としてのみ用いるので、配点を合算しない。						100	100					200
	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1(注1) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	小論文 面接(口頭試問を含む)	共通テスト	200	*100	100	100	200						(700)		共通テストの成績が合計点の50%以上の者で、小論文と面接(口頭試問を含む)の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。
	個別学力検査等								100	100	面接の参考とする			200			
計	共通テストの成績は資格審査としてのみ用いるので、配点を合算しない。						100	100				200					
国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1(注1) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	小論文 面接	共通テスト	200	*100	100	100	200						(700)	共通テストの成績が合計点の50%以上の者で、小論文と面接の成績を中心に、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。		
個別学力検査等								200	500	面接の参考とする			700				
計	共通テストの成績は資格審査としてのみ用いるので、配点を合算しない。						200	500				700					
国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1(注1) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	口頭試問(数I・数II・数III・数A・数B)を含む面接(注2)	共通テスト	200	*100	200	200	200						900		共通テストの成績が合計点の60%に満たない場合は不合格とする。	
個別学力検査等								450		面接の参考とする			450				
計	共通テストの成績は資格審査としてのみ用いるので、配点を合算しない。						200	*100	200	200	200	450	1350				
国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1(注1) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	面接(口頭試問を含む) 調査書	共通テスト	200	*100	200	200	200						900	共通テストの成績が合計点の60%に満たない場合は不合格とする。		
個別学力検査等								250		面接の参考とする	50	面接の参考とする	300				
計	共通テストの成績は資格審査としてのみ用いるので、配点を合算しない。						200	*100	200	200	200	250	50	1200			

(注1) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

(注2) 口頭試問の出題範囲については、数学(甲)の出題範囲と同じとする。

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	共通テスト・個別学力検査等の配点等														備考			
	教科	科目名等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書	競技歴調査書	実技検査		配点合計		
教育学部	小学校教育 コース 教科教育専攻 音楽教育専修	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	口頭試問を含む 面接	共通テスト	200	*100	100	100	200									700	共通テストの成績が合計点の50%に満たない場合は不合格とする。調査書は面接の参考にもする。	
				小論文	個別学力検査等							200	100	面接の参考とする				100	400		
				実技検査 (「A ピアノによる弾き歌い」・「B 選択実技」)	計	200	*100	100	100	200	200	100									100
	*実技検査等実施方法については37ページ参照																				
学校教育 教育 教員 養成 課程	小学校教育 コース 教科教育専攻 美術教育専修	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	小論文 面接	共通テスト	200	*100	100	100	200									700	共通テストの成績が合計点の45%に満たない場合は不合格とする。調査書は面接の参考にもする。	
					個別学力検査等							200	300	面接の参考とする				500			
					計	200	*100	100	100	200	200	300									
小学校教育 コース 教科教育専攻 保健体育専修	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	面接 調査書	共通テスト	200	*100	200	100	200										400	共通テストの成績が合計点の45%に満たない場合は不合格とする。調査書は面接の参考にもする。	
				個別学力検査等							300		面接の参考とする	100	面接の参考とする				400		
				計	共通テストの合計点 (800点) に1/2を乗じ, 400点を共通テストの合計点とする。				300				100								800
小学校教育 コース 教科教育専攻 技術教育専修	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	面接 (口頭試問を含む) 調査書	共通テスト	200	*100	200	200	200										450	調査書は面接の参考にもする。	
				個別学力検査等							300		面接の参考とする	200	面接の参考とする				500		
				計	共通テストの合計点 (900点) に1/2を乗じ, 450点を共通テストの合計点とする。				300				200								950
小学校教育 コース 教科教育専攻 生活科学教育 専修	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	面接 (口頭試問 (家庭総合) を含む)	共通テスト	200	*100	100	100	200										700	調査書は面接の参考にもする。	
			小論文 調査書	個別学力検査等							200	200	面接の参考とする	100	面接の参考とする				500		
				計	200	*100	100	100	200	200	200	200			100						1200

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了 (見込み) の者に限る。

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名		共通テスト利用教科・科目名		個別学力検査等	共通テスト・個別学力検査等の配点等											備考			
		教科	科目名等		科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書		調査書	志願理由書	配点合計
教育学部 学校教育 教育 教員養成課程	小学校教育 コース 教科教育専攻 英語教育専修	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	面接(口頭試問 (一部英語で行う) を含む) 調査書	共通テスト	200	*100		100	100	300							800	共通テストの成績が55%以上の者で、面接(口頭試問を含む)の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。調査書は面接の参考にもする。
					個別学力検査等							250		面接の参考とする	50	面接の参考とする	300		
					計	200	*100		100	100	300	250				50		1100	
	特別支援教育 コース 特別支援教育 専攻 特別支援教育 専修	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) [計2科目] 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科7科目又は6教科8科目)	面接	共通テスト	200	50	50	200	100	200							800	
					個別学力検査等							400	面接の参考とする			400			
					計	200	50	50	200	100	200	400						1200	
(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。 ○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。																			

入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	共通テスト・個別学力検査等の配点等												備考	
	教科	科目名等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書		配点合計
理学部	物質地球科学科 物理系	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B 物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	面接	共通テスト	200	*100		200	200	200						900
					個別学力検査等						400		面接の参考とする			400	
					計	200	*100		200	200	200	400					1300
物質地球科学科 地球環境系	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし, 「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	面接	共通テスト	200	*100		400	400	200						1300	
				個別学力検査等						200		面接の参考とする			200		
				計	200	*100		400	400	200	200					1500	
海洋自然科学科 化学系	数 理 外	数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) [計2科目] 化学 物基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 物理, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)	面接 調査書	共通テスト				300	300	300						900	
				個別学力検査等							400		面接の参考とする	50	面接の参考とする	450	
				計				300	300	300	400			50		1350	
海洋自然科学科 生物系	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) [計2科目] 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	面接 調査書 志願理由書	共通テスト	200	*100		200	200	200						400	
				個別学力検査等							200		面接の参考とする	100	100	400	
				計	共通テストの合計点(900点)に4/9を乗じ, 400点を共通テストの得点とする。					200			100	100	800		

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは, 物理基礎と物理, 化学基礎と化学, 生物基礎と生物, 地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。

(注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は, 高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

○配点に*印を付してある教科は, 選択教科を表す。

入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名		共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	共通テスト・個別学力検査等の配点等											備考		
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書		志願理由書	配点合計
医学部	医学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (5教科7科目)	小論文 面接	共通テスト	200	*100		200	200	300						1000	
				個別学力検査等						300	200	面接の参考とする			500			
				計	200	*100		200	200	300	300	200					1500	
医学部	保健学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (5教科7科目)	面接 調査書	共通テスト	150	*50		100	100	150						550	
				個別学力検査等						250		面接の参考とする	300	面接の参考とする		550		
					計	150	*50		100	100	150	250			300		1100	
工学部	工学科	数 理 外	数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) [計2科目] 物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)	面接 推薦書 調査書 志願理由書	共通テスト				200	200	200						600	
					個別学力検査等						200		50	100	50	400		
					計				200	200	200	200		50	100	50	1000	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

6. 教育学部音楽教育専修 実技検査等実施方法

○学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修

※「B 選択実技」については、実技動画を提出してください。

A ピアノによる弾き歌い ※対面にて実施

○次の楽曲のなかから任意の1曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず1番と2番など、最低2コーラスは行うものとする。

「夕やけこやけ」 中村雨紅 作詞 草川信 作曲

「スキーの歌」 文部省唱歌 林柳波 作詞 橋本国彦 作曲

「ふるさと」 文部省唱歌 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲

注1：暗譜の必要はなし。伴奏には必ず前奏をつけ、伴奏譜の選択は任意とし、各自で用意する。移調可とする。

2：試験前のピアノの練習は、可能。

B 選択実技 ※実技動画提出にて実施

下記の(ア)～(ウ)より1つ選択すること。

(ア) ピアノ

○スケールと、M. クレメンティのピアノ・ソナタより第1楽章を演奏すること。

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、スケールの調性、曲名(作品番号を含む)を明記する。

2：スケールは選曲したピアノ・ソナタと同じ調性とし、3オクターブ、カデンツを付ける。

また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：繰り返しは省略する。

4：暗譜演奏とする。

(イ) 声楽

○コンコーネ50番から任意の一曲を選び、母音唱法にて歌うこと。

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、コンコーネの番号と調性を明記する。

2：調性は任意とする。

3：暗譜演奏とする。

4：無伴奏とする。

(ウ) 管弦打楽器

○スケールと、任意のエチュード1曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、1つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、楽器名、スケールの調性、作曲者名、曲名(作品番号を含む)を明記する。

2：スケールは選曲したエチュードと同じ調性とし、2オクターブとする。

また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：暗譜の必要はなし。

4：無伴奏とする。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース
教科教育専攻 音楽教育専修
実技検査(「B 選択実技」) 実技動画の撮影及び提出の方法について

1. 「B 選択実技」の実技動画撮影における留意事項

- ① 「B 選択実技」の録画データを、DVD-R、SDカード、USBフラッシュドライブ(以下「USBメモリ」)のいずれかのメディアに保存してください。
- ② 動画ファイル形式は、MPEG4(.mp4)、またはMOV(.mov)です。
指定の動画ファイル形式以外の提出は受け付けません。
- ③ DVD-Rに保存する場合は、最後にファイナライズ処理をするなどして、必ずマスター形式(書き込み不可)にしてください。(Windows、またはMacでデータ確認ならびに再生できることを確認してください。)
- ④ オリジナルデータは、各自で保管してください。
- ⑤ 動画の画質を保つため、画面解像度(ピクセル)は720p、フレームレート(fps)は30fpsのHD画質で録画してください。
- ⑥ 録画する映像は全身が映るように撮影してください。(「3.」の撮影例を参照のこと)
- ⑦ 演奏前に、氏名と生年月日、及び次の内容をカメラに向かって話してください。
(ア) ピアノ：スケールの調性、M. クレメンティ作曲のピアノ・ソナタの作品番号
(イ) 声 楽：番号、調性
(ウ) 管弦打楽器：スケールの調性、作曲者名、曲名、作品番号

例) 『○○○○(氏名)です。生年月日は○○年○○月○○日です。選択実技として、□□□調のスケールと、◇◇◇◇作曲の《曲名》○○番(作品番号)を演奏します。』
- ⑧ 「B 選択実技」の、(ア)ピアノと(ウ)管弦打楽器は、スケールを先に演奏した後、続けて楽曲を演奏してください。
- ⑨ 「B 選択実技」の動画は、録画開始から終了までの内容を一切編集しないでください。
- ⑩ 提出する動画は、映像と音声がいずれもしっかり記録されていることを自身で必ず確認してください。演奏を妨げる大きなノイズ(サイレン、選挙カー、電車の音、道路の音、部屋の中のノイズ、チャイム、家庭の生活音等)はなるべく入らないよう配慮をお願いします。
- ⑪ 服装は自由です。
- ⑫ 収録日は、提出日の2ヶ月以内のものとしします。

2. 「B 選択実技」の使用楽器について

【(ア) ピアノの場合】

- ・演奏はピアノを使用してください。アップライトピアノまたはグランドピアノのどちらかを用いてもかまいません。電子楽器は不可です。

【(イ) 声楽及び(ウ) 管弦打楽器の場合】

- ・演奏は無伴奏で行ってください。

3. 「B 選択実技」の撮影例

① (ア) ピアノの場合

[右手が手前にくる場合の撮影例]



[左手が手前にくる場合の撮影例]



- ・演奏者の右手または左手が手前になるよう、全身がわかるように撮影してください（顔、手、腕、ペダルが映る角度で撮影してください）。

② (イ) 声楽及び(ウ) 管弦打楽器の場合

- ・全身が映るよう撮影してください。
- ・(ウ) 管弦打楽器の場合、譜面台で顔、手、腕が隠れないよう撮影してください。

4. 実技動画の提出方法

- ① 提出メディアは必ず収納ケース、または緩衝材等で包み、衝撃から守るようにしてください。送付された記録メディアの破損については、一切の責任を負いかねます。
- ② 「実技動画提出に関する誓約書」及び「実技検査に係る動画提出申請書」に必要事項を記入の上、動画を収録したメディアと共に、出願書類とは別に、11月22日（水）17：00必着で郵送してください。

【提出期限】 11月22日（水）17:00 必着（消印有効ではありません。）

【提出物】

- ① 「B 選択実技」の演奏動画が収録されているメディア
- ② 必要事項の記載及び署名がされている「実技動画提出に関する誓約書」
- ③ 必要事項が記載されている「実技検査に係る動画提出申請書」
- ④ 「B 選択実技」の楽譜（ウ）管弦打楽器のみ

※1 上記①～④の提出物は、市販の封筒（※2）に入れ、「書留郵便」で郵送してください。提出期限を過ぎて到着した場合には受理しませんので、ご注意ください。宛名ラベルを印刷し、貼り付けて使用してください。様式は令和6年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項〔様式集〕の【出願書類】からダウンロードし印刷してください（44頁参照）。
（ <https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/gakkosuisen2/> ）

※2 封筒は、市販の角形2号封筒（240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を準備してください。収録メディアを封入する際には、郵送過程で破損しないよう、ケースや緩衝材に包むなど、十分に気を付けてください。送付されたメディアの破損については、一切の責任を負いかねます。

※3 実技動画に関連する提出物①～④の受付は、原則として郵送に限ります。ただし、高等学校等が取りまとめて提出する場合及び提出期限までに到着しないおそれがある場合は、持参による提出を認めます。

※4 持参の場合の受付時間 教育学部学務係 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

※5 提出されたメディアは返却いたしませんので、ご注意ください。

※6 提出された動画資料は、本学実技検査にのみ使用し、その他には一切使用いたしません。

お問い合わせ先：教育学部学務係
電話 098-895-9030
9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

7. 試験日時及び試験場

(1) 試験日 12月6日(水)

※ 試験開始時刻の30分前までに、面接は集合時刻までに各試験場へ到着してください。

※ 試験開始時刻(面接は、集合時刻)から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

※ 受験者全員が集合次第、面接を開始する場合があります。また、受験者数により、面接の集合時刻と開始時刻を変更することがあります。その場合は、別途各受験者へお知らせします。

学部名	学 科 等		試験場	小論文等	面 接		
				試験時刻	集合時刻	開始時刻	
人文社会 学 部	国際法政学科		千原キャンパス	10:00~12:00	13:00	13:10	
	人間社会学科	哲学プログラム		10:00~12:00	13:00	13:10	
		心理学プログラム	10:00~12:00	13:00	13:10		
		社会学プログラム	10:00~12:00	13:00	13:10		
	琉球アジア文化学科		人文社会学部 試験場	10:00~12:00	13:00	13:10	
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻	10:00~12:00	13:00	13:30	
			教科教育専攻	国語教育専修	10:00~12:00	13:00	13:30
				社会科教育専修	10:00~12:00	13:00	13:30
				数学教育専修		9:30	10:00
				理科教育専修		9:30	10:00
				音楽教育専修	10:00~12:00	13:00	13:30
		美術教育専修		10:00~12:00	14:00	14:30	
		保健体育専修			9:30	10:00	
		技術教育専修			12:30	13:00	
		生活科学教育専修		10:00~11:30	12:30	13:00	
		英語教育専修			12:30	13:00	
		教育特別支援コース	教育特別支援	特別支援教育専修		9:30	10:00
	理 学 部	物質地球科学科	物理系	千原キャンパス 理学部試験場		9:30	10:00
地球環境系					9:30	10:00	
海洋自然科学科		化学系			9:30	10:00	
		生物系			9:30	10:00	
医 学 部	医学科		上原キャンパス 医学部試験場	10:00~12:00	12:40	13:00	
	保健学科				9:30	10:00	
工 学 部	工学科	機械工学コース	千原キャンパス 工学部試験場		9:30	10:00	
		エネルギー環境工学コース			9:30	10:00	
		電気システム工学コース			9:30	10:00	
		電子情報通信コース			9:30	10:00	
		社会基盤デザインコース			9:30	10:00	
		建築学コース			9:30	10:00	
		知能情報コース			9:30	10:00	

(2) 集合場所

学部	場所
人文社会学部	文系講義棟（各試験室）
教育学部	教育学部本館棟玄関前（ただし保健体育専修は体育教官棟前）
理学部	理学部本館の玄関前
医学部	医学部基礎講義実習棟（医学科） 医学部保健学科棟（保健学科）
工学部	工学部当該コースの試験場前（工学部1～4号館）

【試験場配置図】 <https://www.u-ryukyu.ac.jp/wp-content/uploads/2023/09/R6haichizu-suisen2.pdf>

試験配置図は必ず事前に確認し、集合時刻までに集合場所に集まってください。

試験当日は十分な時間的余裕をもって試験場に向かってください。

試験開始時刻の30分前までに上記集合場所へ集合してください。面接（実技を含む）は集合時刻までに集合してください。

(3) 試験場下見 12月5日（火）15:00～18:00頃

各試験場の建物入口に受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図を掲示しますので、試験室等の確認を行ってください。試験室内への立入はできません。

8. 出願手続

(1) インターネット出願

- インターネット出願サイトで登録後、入学検定料を支払い、出願書類等を本学へ郵送・受理することで出願完了となりますので、ご注意ください。
- 出願書類を郵送する際は、郵便の事情等による郵便物の遅配が予想されますので、十分な時間的余裕をもって発送してください（消印有効ではありません）。

【インターネット出願の流れとスケジュール】



(2) 受付期間

インターネット出願登録期間	10月23日(月)9:00～ 11月4日(土)17:00まで インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。入学願書受付期間内に<u>出願書類等を提出(郵送)することが必要です。</u>	操作に関する お問い合わせ 志願受付操作サポート窓口 0120-752-257 受付時間 9:30～20:00 (土日祝日利用可能)
入学願書受付期間 (出願書類提出期間)	11月1日(水)～11月4日(土) <u>最終日17:00必着(消印有効ではありません。)</u>	
入学検定料払込期間	10月23日(月)9:00～11月4日(土)17:00まで	

(3) 出願手順

①出願登録のためのEメールアドレスの準備

Eメールアドレスは、スマートフォン・携帯電話やフリーメールも利用可能ですが、本学からのメール(no-reply@52school.com)を確実に受信できるよう設定を確認してください。

②インターネット出願サイトへの登録

本学ホームページ[入試情報]より、インターネット出願サイトにアクセスし、出願情報の登録を行います。

※自宅にパソコンやスマートフォン等インターネット環境がない場合は、自宅以外(学校等)のパソコン等(インターネット環境)を利用していただいても構いません。

③入学検定料の払込(「10. 入学検定料の払込」, 「11. 災害等による入学検定料の特例措置」参照)

④出願書類等の提出(出願書類については(4)参照)

(4) 出願書類等

高等学校等から取り寄せる書類

出願書類等	事 項
1. 調査書 (※1)(※2)	【全員】 高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、被災等の事情により調査書を提出できない者は卒業証明書又は卒業見込み証明書及び成績証明書を提出してください。 ※調査書又はそれに代わる証明書等を提出できない者は、入試課までご相談ください。

※1 調査書について

- ①文部科学省所定の様式に従い高等学校等の長が作成した調査書により、入学志願者の高等学校在学中の学習成績、特別活動等について審査します。
- ②高等学校等の長が調査書を作成する際には、次の事項を記入してください。
 - ア. 学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で高等学校等の長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄にⒶと標示し、「備考」欄にその理由を明示してください。
 - イ. 「総合的な学習の時間の内容・評価」の欄については、「総合的な学習の時間」を履修していない場合には当該欄に斜線を引いてください。

本学様式指定の書類

様式は令和6年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項[様式集]の【出願書類】(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/gakkosuisen2/>)からダウンロードし印刷してください。

出願書類等	事 項
2. 推薦書(※2) (A4サイズ)	【全員】 高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。

3. 志願理由書 (A4サイズ)	【全員】 志願者本人の直筆で、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）により作成してください。
4. 競技歴調査書 (A4サイズ)	【教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修】 高等学校等の長が作成し、提出してください。
5. 実技動画提出に関する誓約書 (A4サイズ)	【教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修】 志願者本人の直筆で、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）により作成してください。（ 実技動画と一緒に提出 11月22日(水)17:00(必着) ）
6. 実技検査に係る動画提出申請書 (A4サイズ)	【教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修】 志願者本人の直筆で、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）により作成してください。（ 実技動画と一緒に提出 11月22日(水)17:00(必着) ）
7. 令和6共通テスト成績請求票	【全員】 次の①・②を(令和6年)1月15日(月)～1月22日(月) 最終日17:00(必着) の間に提出してください。 ①「令和6共通テスト成績請求票 推薦 国公立推薦型選抜用」 (裏面に琉球大学の受験番号を記入すること) ② 共通テスト受験科目票 (A4サイズ) ※上記①・②については、共通テストの <u>受験の有無にかかわらず</u> 、出願した場合は必ず提出してください。 ※高等学校等が取りまとめて提出する場合でも志願者毎に封筒に入れてください。

※2 調査書及び推薦書について

新型コロナウイルス感染症対策の影響により、高等学校で臨時休業等が実施され、各種のスポーツ・文化関係の行事、大会及び資格・検定試験等が中止、延期又は規模縮小等されているため、努力のプロセス等を記載しても構いません。

インターネット出願サイトから印刷する書類

出願書類等	事項
8. 出願確認票 (A4サイズ)	【全員】 インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷してください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。修正する場合は、該当部分を二重線で消し、 赤 のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。
9. 宛名ラベル (A4サイズ)	【全員】 インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。修正する場合は、該当部分を二重線で消し、 赤 のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。また、提出書類等について確認の上、チェックしてください。
10. 宛名ラベル (実技動画提出) (A4サイズ)	【教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修】 指定の提出物郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※差出人（志願者）欄には、志願者本人の直筆で、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）により記入してください。

その他

出願書類等	事項
11. 住民票の写し	【外国籍を有する者】 市区町村長発行のマイナンバーの記載のない住民票の写し（記載事項の省略が無いもの。）を提出してください。

※印刷方法について

カラー選択：モノクロ、カラーどちらでもかまいません。

印刷用紙：普通紙でかまいません。

ホッチキスは使用しないこと。

出願書類が2ページ以上ある場合は、両面印刷で印刷してください。

(5) 提出方法・提出先

前項(4)の出願書類等は、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼った市販の封筒(※1)に入れ、「書留郵便」で郵送してください。入学願書受付期間終了後に到着した場合には受理できませんので、ご注意ください。

※1 封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mmでA4サイズ of 書類を折らずに入れることができる封筒)を準備してください。

※2 入学願書の受付は、原則として郵送に限ります。ただし、高等学校等が生徒の入学願書を取りまとめて提出する場合(取りまとめて提出する場合でも、入学願書は志願者毎に封筒に入れること。)及び(2)の入学願書受付期間内に到着しないおそれがある場合は、持参による提出を認めます。

※3 持参の場合の受付時間：9:00～17:00(必着)

【提出先】 琉球大学学生部入試課	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 全保連ステーション(大学会館)1階 電話：098-895-8141
---------------------	--

(6) 出願に関する注意事項

国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを合わせて、1つの大学・学部しか出願できません。よって、本学の学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱを併願することはできません。

また、本学の学校推薦型選抜と他の国公立大学の学校推薦型選抜を併願することもできませんのでご注意ください。

(7) 学校推薦型選抜志願者が国公立大学・学部の一般選抜を志願する場合の取扱い

学校推薦型選抜志願者も、不合格となった場合に備えて、本学又は他の国公立大学・学部の一般選抜の「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つ、並びに公立大学中期日程から1つの合計3つの大学・学部に出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部・学科等が指定する令和6年度共通テストの教科・科目を受験していること及び入学検定料を新たに納入することが必要です。

(8) 提出書類の注意事項

- 出願書類の志願者の氏名は、通称・略字等は使用せず、正確かつ丁寧に記入してください。また、インターネット出願登録の際に氏名の漢字が正しく表記されない場合や、文字数制限のため氏名の入力ができない場合は氏名の一部を入力のうち、印刷した出願確認票の該当部分を二重線で消し、赤のボールペン(消せるボールペンは不可)で正しい氏名を記入してください。
- 工学部志願者は、推薦書、志願理由書の該当する番号(出願枠)に○印を付してください
- 専門高校・総合学科卒業生枠による志願者は、推薦書、志願理由書の所定の欄に○印を付してください。ただし、理学部海洋自然科学科生物系については、出願要件が専門高校卒業生枠のみのため、○印を付さないでください。
- 出願書類に記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
- 出願書類の受付後は、出願書類の返却及び記載事項の変更は認めません。
- 出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 出願書類提出後、「出願確認票」で届け出た志願者住所、不在時の連絡先が変更になった場合は、直ちに本学学生部入試課(電話098-895-8141)に連絡してください。

9. 受験票

11月13日（月）以降、インターネット出願サイトからダウンロードが可能となります。
受験票は印刷し、試験当日に必ず持参してください。

10. 入学検定料の払込

(1) 検定料 17,000円

- ①入学検定料の他に、別途必要なインターネット出願サイトサービス利用料(900円)及び検定料払込に係る手数料は志願者負担となります。
- ②災害等により被災された方については、入学検定料免除の特例措置を行っております。条件や手続きの詳細については、「11. 災害等による入学検定料の特例措置」を参照してください。
※試験成績開示を希望する場合は、検定料に開示手数料(500円)を併せて徴収します。

(2) 入学検定料払込期間

10月23日（月）9:00 ～ 11月4日（土）17:00 まで

(3) 払込方法（インターネット出願サイトで選択できます。）

コンビニエンスストア、Pay-easyでの支払い（銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、ネットバンキング）、クレジットカード（VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

- ①銀行窓口での支払いはできません。
- ②コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。
- ③コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

(4) 検定料の返還について

払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア. 検定料を支払ったものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま入学願書受付期間が終了、又は書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

イ. 誤って検定料を二重に支払った場合

ウ. 災害等により被災した特例措置対象者が検定料を支払った場合

※いずれの場合でも、インターネット出願サイトサービス利用料（900円）及び検定料払込に係る手数料は返還しません。

◆上記に該当する場合

①申請方法

令和6年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項〔様式集〕の【該当者のみの書類】（<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/gakkosuisen2/>）より所定の様式「返還金払戻請求書」をダウンロードし、A4サイズで印刷して必要事項を記入し、払戻の理由を選択、氏名欄へ押印のうえ、下記へ送付してください。

②返還申請期限：令和6年3月29日（金）

③送付先

琉球大学 財務部 経理課 収入・支出係	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 電話：098-895-8058
------------------------	---

③留意事項

- ・封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ・返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。
- ・ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。
- ・返還には請求書受理後2～3か月程度かかります。

11. 災害等による入学検定料の特例措置

本学では、令和6年度の全ての入学者選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減し受験機会を確保するため、特例措置を実施し、次に該当する入学志願者の検定料を免除します。※申請する場合は「検定料」を払い込まないでください。

(1) 措置内容

検定料の免除 17,000円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対 象 者	必要書類（写し）
①災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
②居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

- ・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/)
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について
：文部科学省 HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm)
- ・その他の災害：文部科学省 HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm)

(3) 申請の方法

インターネット出願システムでの出願登録前に、申請方法や事前に必要となる内容等についてご確認ください。

- ①学生部入試課へ連絡の上、該当の可否及び必要書類等について確認してください。
- ②本学ホームページ【令和6年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項サイト (<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/gakkosuisen2/>) 】より所定の様式「検定料免除申請書」をダウンロードしてください。
- ③「検定料免除申請書」をA4サイズで印刷の上、必要事項の記入、被災状況を選択、氏名欄への押印をしてください。
- ④学生部入試課へ必要資料をFAX又はEメールで送付してください。

【確認・送付先】 琉球大学 学生部 入試課	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 全保連ステーション（大学会館）1階 電話：098-895-8141 FAX：098-895-8129 Eメール： nsnsd1@acs.u-ryukyu.ac.jp
--------------------------	---

- ⑤必要書類を添えて、出願書類とともに「検定料免除申請書」の原本を提出してください。

(4) 検定料を誤って納付した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式「返還金払戻請求書」に、罹災証明書等（写し）を添えて下記送付先へ申請してください。申請後、検定料を返還します。（払戻の理由は「4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択してください。）

※返還金払戻請求書の送付期限は、令和6年3月29日（金）までとします。

【送付先】 琉球大学 財務部 経理課 収入・支出係	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 電話：098-895-8058
---------------------------------	---

12. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。「検討結果通知書」の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いいたします。

(1) 申請期限 令和5年10月20日（金）（消印有効）

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。なお、申請期限後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の配慮を希望する場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

(2) 申請方法

以下の書類を、障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ① 「受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）
- ② 「医師からの意見書」（本学指定の様式）
- ③ その他検討する際に必要な参考資料

※上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ(<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp>)「支援を希望される皆様へ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、本学において志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

【問い合わせ先】 琉球大学障がい学生支援室	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 全保連ステーション（大学会館）2階 電話：098-895-8750 FAX：098-895-8791 E-mail： g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp
--------------------------	---

13. 受験に関する注意事項

1) 受験上の注意事項

- (1) 個別学力検査等の日程・試験場は、学部・学科等により異なるので、注意してください。
- (2) 試験場は、学部ごとに散在していますので、事前に下見をしておくことをお勧めします。
各試験場の試験室配置図（実技検査、面接集合場所を含む）及び注意事項は、「7. 試験日時及び試験場」欄を確認してください。
- (3) 試験当日は、試験開始時刻の30分前までに、面接（口頭試問、実技を含む）においては集合時刻までに各試験場へ到着してください。なお、試験室への入室は監督者の指示に従ってください。
- (4) 試験室へ入室し、座席に着いたとき、琉球大学受験票の「受験番号」と机に貼ってある「受験番号」が同じであることを確認してください。
- (5) 試験開始時刻（面接（口頭試問、実技を含む）においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- (6) 試験室には、必ず本学の受験票を携帯し、監督者の指示に従い所定の場所に置いてください。万一忘れた場合は、当該試験場に設置している試験場本部に申し出てください。
- (7) 試験室の机上には、本学の受験票、時計（時計機能だけのもの）、筆記用具〔黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く。）〕のみを置いてください。それ以外の所持品は、監督者の指示に従ってください。
- (8) 問題冊子は、試験開始の合図があるまで絶対に開かないでください。
- (9) 解答用紙には、受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は、無効とすることがあります。
- (10) 試験時間中は、試験室からの退室は認めません。ただし、用便、身体の不調又は質問等がある場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- (11) 解答用紙を試験室外に持ち出した場合は、無効となります。
- (12) 解答用紙は、解答の如何にかかわらず必ず提出してください。
- (13) 携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末等の音の出る機器は、必ず試験室での監督者の指示に従い、アラームの設定を解除し、電源を切って、かばん等に入れてください。
- (14) 耳せんは、監督者の指示が聞き取れないことがあるので、使用を認めません。
- (15) 試験当日は、各試験場内への自動車、オートバイ等の乗り入れを原則禁止します。
- (16) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は、十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。
- (17) 学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症（インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス等）に罹患し、試験当日までに治癒していないか出席停止期間等が終了していない受験者は、他の受験者への感染のおそれがあるため、受験できませんのでご注意ください。ただし、病状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めたときはこの限りではありません。
なお、上記により受験できなかった場合の追試験等の措置及び検定料の返還は行いません。
- (18) マスクの着用は、原則として個人の判断に委ねることとします。ただし、咳などの症状のある方にはマスクの着用をお願いすることがあります。

***実施方法等に変更が生じた際には、本学ホームページにて速やかにお知らせします。**

2) 不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、既に受験した個別学力検査等の成績も無効になります。

なお、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 出願確認票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（インターネット出願登録時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入する等）をすること。
 - ② カンニング（試験の教科・科目等に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ⑦ 試験時間中（面接（口頭試問、実技を含む）時間及び面接（口頭試問、実技を含む）待機時間を含む。）に、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。（緊急の連絡が必要な場合は、試験監督者等に申し出ること）
- ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験時における合理的配慮申請が必要です）
- ⑧ 試験時間中に、使用を認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ⑨ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

上記以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同様です。

- ① 試験時間中に使用を認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

14. 入学手続

入学手続の詳細（手順、提出書類等）については、合格者に発送する「入学手続案内」をご確認ください。

（1）入学手続期間

令和6年2月13日（火）～19日（月） 9:00～17:00（土日・祝日を除く）

※入学手続書類等は、原則「書留郵便」で郵送してください。

（2）入学料及び授業料

入学料（予定額）	282,000 円
授業料（予定額）	（前期分）267,900 円 （年 額）535,800 円

- ※1 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- ※2 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も併せて納入することができます。
- ※3 JASSO 給付奨学金の大学等奨学生採用候補者に決定した者、入学後に JASSO 給付奨学金の在学採用に申請する予定の者は、入学手続き時に「入学料徴収猶予」の手続きをおこなう必要があります。
JASSO 給付奨学金の申請に必要な要件を満たさない者は、大学独自の「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度に申請することができます。詳細は、合格者に送付する「入学手続案内」をご確認いただくか、学生部学生支援課学生援護係にお問い合わせください。

（3）留意事項

- ①本選抜による合格者が、本学の定める期間内に入学手続を行わないときは、本学に入学する権利を消失するので十分に注意してください。
- ②本選抜による合格者で入学手続きを完了した者は、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。
- ③出願後に生じた特別の事情により入学を辞退する場合には、当該者の推薦を行った高等学校等の長を経由して令和6年2月14日（水）17:00までに「推薦入学辞退願」を合格学部に提出し、その許可を得た場合に限り、その入学辞退を認めます。
- ④上記③による入学辞退許可を受けずに入学辞退したり、入学手続を行わない場合には、翌年度以降、当該高等学校等の長からの推薦を受理しませんので、注意してください。
また、その場合、本年度に出願済の他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）を受験しても入学許可は得られません。
※公立大学協会ホームページ <https://www.kodaikyo.org> 参照
- ⑤国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び共通テストの受験番号に限って、合格及び入学手続等に関する個人情報に独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達しますので、ご了承ください。

15. 入学前教育

学 部	学 科 等	課題の概要
工学部	知能情報コース	主に数学（微分積分）に関する入学前教育を実施します。

16. 個人情報の利用等

- (1) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、次のとおり利用又は提供しますので、あらかじめご了承ください。
- ① 入学者選抜、合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。
 - ② 入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき、学生支援関係業務（健康診断、入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除、奨学生採用、就職支援等）、教務関係業務（学籍管理、修学指導、成績管理等）、納付金関係業務（授業料徴収等）で利用します。
 - ③ 入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお、統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は、個人が特定できないよう配慮します。
 - ④ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。
 - ⑤ 本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援財団、各学部・学科同窓会、各学部・学科後援会及び琉球大学生生活協同組合に、氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。
- (2) 上記(1)の各種業務での利用にあたっては、本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）に、必要な限度において当該個人情報を提供する場合があります。この場合、受託業者に対し、当該個人情報について、その利用の目的若しくは方法の制限その他必要な制限を付し、かつその漏えい防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずることを求めます。
- (3) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類の不備等があることを、保護者又は高等学校等に通知する場合があります。
- (4) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

17. 入試情報開示に関する事項

(1) 個別学力検査等の採点・評価基準

①人文社会学部

国際法政学科	小論文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	調査書	○総合的な学習を含む学業成績を評価します。
	推薦書	○受験生の人物, 学校生活状況, 学業成績, 課外活動・特技・資格等を評価します。面接の評価に含めます。
	志願理由書	○進学のための目的, 将来の計画及び長所・特技等を評価します。面接の評価に含めます。
人間社会学科	小論文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 構成力等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	調査書	○学業成績を評点化するほか, 特別活動の記録や総合的な学習の時間の内容・評価, 部活動やボランティア活動, 取得資格, 検定など, 調査書の他の記載事項も本学部のアドミッション・ポリシーに照らして確認し, 面接の参考にします。
	推薦書	○学業, 人物, 課外活動等について, 面接の基礎資料とし, 面接の評価に含みます。
	志願理由書	○目的意識, 意欲, 志望に至った経緯, 記述力等について面接の基礎資料とし, 面接の評価に含みます。
琉球アジア文化学科	小論文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	調査書	○「学習成績の状況」を点数化します。
	推薦書	○学業, 人物, 課外活動等を示す資料として, 面接の参考にします。
	志願理由書	○志願理由・動機, 将来計画及び長所・特技等を示す資料として, 面接の参考にします。

②教育学部

学校教育教員養成課程

小学校教育コース	学校教育専攻	面接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。
		小論文	○教育や子どもに関する知識・理解をみます。 ○小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力をみます。 ○小学校教育に対する意欲・関心をみます。
		調査書	○面接の参考にします。
		推薦書	○面接の参考にします。
		志願理由書	○面接の参考にします。

小学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	口頭試問を含む面接	○現代文・古文・漢文等の著名かつ基礎的な作品（の一部）を提示し、読解力や思考力をみます。 ○意欲，目的意識，適性，表現力等をみます。
			小論文	○国語教育や言語の問題等に関するまとまった分量の文章を読んだうえで，その内容を正確に把握していることを前提に，しっかりとした根拠に基づいて自らの意見を的確に論述・表現できる能力を求めます。
			調査書	○学習成績や就学状況等を確認できる資料として，面接の参考にします。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として，面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として，面接の参考にします。
		社会科教育専修	面接	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみます。 ○自分の意見をまとめ，適切に表現する力をみます。 ○教育や子どもに関する問題について自分なりの視点で分析し，議論する力をみます。
			小論文	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみます。 ○理解力，分析力，考察力，論理的な思考力および記述力を評価します。
			調査書	○「学習成績の状況」等について面接の参考にします。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びについて学校側の認識を示す資料として，面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画・自己アピール等を示す資料として，面接の参考にします。
		数学教育専修	口頭試問を含む面接	○小学校教師としての適性，および数学についての理解の程度と論理的思考力について評価します。
			調査書	○学習成績や修学状況等を確認できる資料として，面接の参考にします。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として，面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画等を示す資料として，面接の参考にします。
		理科教育専修	口頭試問を含む面接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。 ○自然科学についての理解の程度及び論理的思考力について評価します。
			調査書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技等を総合的に評価します。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として，面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として，面接の参考にします。

小学校教育コース	教科教育専攻	音楽教育専修	実技検査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみます。 ○弾き歌いについては、歌唱指導に繋がる能力をみます。
			口頭試問を含む面接	○大学生活に対する熱意や目的意識の高さをみます。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみます。 ○面接態度、表現力等をみます。 ○基礎的な理論、楽典、用語、音楽史の知識・理解をみます。
			小論文	○出題の意図を把握し、問題の解決のための分析力や意見、主張に論理性があり説得力があるかをみます。
			調査書	○学習成績や修学状況等を確認できる資料として、面接時の参考にします。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の参考にします。
		美術教育専修	面接	○受験の動機、学習意欲、表現力および適正を評価します。
			小論文	○発想力や鑑賞力、造形教育への関心度を評価します。
			調査書	○学習成績や修学状況等を確認できる資料として、面接の参考にします。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の参考にします。
		保健体育専修	面接	○小学校の教員としての資質や適性を評価します。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価します。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績（出願書類の競技歴調査書）を評価します。
			調査書	○「学習成績の状況」および部活動、学級・生徒会活動、特技や表彰・受賞等についてそれぞれ評点化します。
			競技歴調査書	○専門種目についての競技実績や成績を判断するための基礎資料とします（エビデンスを添付すること）。 ○面接の評価に加味します。 高等学校等の長が責任をもって記載した所定の「競技歴調査書」を精査し、面接でも聴取します。なお、競技歴調査書には本人の競技大会・試合への出場や競技成績が客観的に証明できる資料を添付すること（競技歴調査書の記入上の注意事項を必読のこと。）
			推薦書	○学業・人物・課外活動（部活動に重点を置く）について、面接の基礎資料とします。 ○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の参考にします。
		技術教育専修	志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の参考にします。
			口頭試問を含む面接	○学校教員への意欲をみます。 ○ものづくりに関する基礎的な知識とものづくり体験及び技術的思考力をみます。
			調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の参考にします。
				志願理由書

小学校教育コース	教科教育専攻	生活科学教育専修	小論文	○小学校教育への関心・意欲及び基礎的な文章力をみます。
			口頭試問を含む面接	○教師への意欲をみます。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみます。
			調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の参考にします。
		英語教育専修	面接	○志望理由，動機，将来の進路計画，英語学習や英語教育に関する意欲，興味などについて面接を行います。面接は一部英語で行います。
			調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の参考にします。
			志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の参考にします。
			特別支援教育コース	特別支援教育専攻
調査書	○調査書は独立しては評点化せず，面接の評点に反映します。			
推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の参考にします。			
志願理由書	○志望動機・将来設計・長所・特技・自己アピール等を示す資料として面接の参考にします。			

③理学部

物質地球科学科 物理系	面接	○動機，意欲，長所，将来計画，物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む），適性等を総合的に評価します。その際に，調査書，推薦書，志願理由書の記載内容も含めて評価します。
	調査書 推薦書 志願理由書	○面接の参考にします。
	面接	○志望理由，学習への意欲，適性等を評価し，調査書，推薦書，志願理由書の記載内容も含めて総合的に評価します。
物質地球科学科 地球環境系	調査書	○中等教育での学習成果および学習に対する主体性を評価します。
	推薦書	○中等教育での地学分野（天文分野を含む）への取組，活動実績を中心として評価します。
	志願理由書	○志望理由，地学の専門分野に対する学習への意欲，適性等を評価します。
	面接	○志望理由，学習への意欲，適性等を評価し，調査書，推薦書，志願理由書の記載内容も含めて総合的に評価します。

海洋自然科学科 化学系	面接	○自然科学に対する学習意欲, 化学に必要な論理的思考力・判断力・表現力, 志望動機等を総合的に評価します。
	調査書	○主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度, および指導上参考となる諸事項等を総合的に評価します。
	推薦書 志願理由書	○面接の参考にします。
海洋自然科学科 生物系	面接	○生物学に対する関心と基礎知識, 学習意欲, 動機, 適性等を総合的に評価します。
	調査書	○生物学に関する活動や資格, 指導上参考となる諸事項等特記事項等を評価します。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○生物学に関する関心の程度や, 学習意欲, 文章力や論理性などを総合的に評価します。

④医学部

医学科	小論文	○思考力, 独創性, 発想力, 表現力等を総合的に評価します。
	面接	○適性, 意欲, 表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
保健学科	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○学力, リーダーシップ, 課外活動, 表彰等を総合的に評価します。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。

⑤工学部

工学科 (全コース共通)	面接	○志願理由・動機, 将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして, 意欲や個性などを評価し, 点数化します。
	志願理由書	○志望動機, 将来計画, 長所・特技, 自己アピール等を総合的に評価し, 点数化します。
	調査書	○評定平均値を点数化します。
	推薦書	○学業, 人物, 課外活動等を評価し, 点数化します。

(2) 合否判定基準

①全学部の基本的な基準

○共通テストの成績と個別学力検査等の成績等、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とします。（ただし、人文社会学部の人間社会学科、教育学部の学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻、小学校教育コース教科教育専攻（国語教育専修・社会科教育専修・数学教育専修・音楽教育専修・保健体育専修・英語教育専修）を除く）
○共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

②学部ごとの基準

1) 人文社会学部

国際法政学科	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
人間社会学科	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。 ○共通テストの合計点が50%に満たない場合は不合格とします。
琉球アジア文化学科	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。

2) 教育学部（学校教育教員養成課程）

学部共通		○共通テストの成績、個別学力試験等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。	
小学校教育コース	学校教育専攻	○小論文と面接の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。共通テストは資格審査として用いるので、配点には影響しません。	
	教科教育専攻	国語教育専修	○小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。共通テストは資格審査として用いるので、配点には影響しません。
		社会科教育専修	○小論文と面接の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。共通テストは資格審査として用いるので、配点には影響しません。
		数学教育専修	○共通テストと面接（口頭試問を含む）の総合評価により判定します。 ○共通テストの成績が配点合計の60%に満たない場合は不合格とします。
		理科教育専修	○共通テスト、面接（口頭試問を含む）及び出願書類の総合評価により判定します。
		音楽教育専修	○共通テスト、実技検査、小論文、面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合的に判断します。 ○共通テストの成績が配点合計の50%に満たない場合は不合格とします。
		美術教育専修	○共通テスト、小論文、面接の総合評価により判定します。
		保健体育専修	○共通テストの合計点に1/2を乗じた値を共通テストの得点とします。 ○面接を中心に共通テスト、調査書、推薦書、志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考します。 ○共通テストの成績が配点合計の45%に満たない場合は不合格とします。
		技術教育専修	○共通テストと面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合評価により判定します。
		生活科学教育専修	○共通テスト、小論文、面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。
英語教育専修	○共通テスト、面接（口頭試問を含む、一部英語で行う）及び出願書類を総合的に判定します。		

教育特別コース支援	教育特別専攻	特別支援教育専修	○共通テストと面接及び調査書の総合評価により判定します。
-----------	--------	----------	------------------------------

3) 理学部

物質地球科学科 物理系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。
物質地球科学科 地球環境系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。
海洋自然科学科 化学系	○共通テスト，面接及び調査書の総合点により判定します。
海洋自然科学科 生物系	○共通テスト，面接，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考します。

4) 医学部

医学科	○合格ラインに同点者がいる場合には，次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①面接の高得点者 ②小論文の高得点者 ③共通テストの外国語の高得点者 ④共通テストの数学の高得点者 ⑤共通テストの理科の高得点者
保健学科	○共通テスト 550 点，調査書 300 点，面接 250 点の配点とし，総合点 1100 点満点で上位者から合格者とします。

5) 工学部（工学科全コース共通）

工学科 (全コース共通)	○共通テスト，調査書，推薦書，志願理由書，面接を点数化し，総合得点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い，可否を判定します。
-----------------	---

(3) 試験成績開示

令和6年度学校推薦型選抜Ⅱの個人成績を、インターネット出願サイトで試験成績開示を希望した方に開示します。申請方法、開示内容及び開示方法は以下のとおりです。出願期間後に開示請求登録を行うことはできませんので、ご注意ください。

① 開示請求者	成績開示希望者（受験者本人）。代理人請求は認めません。
② 開示内容	ア 大学入学共通テストの科目ごとの得点 （本学が判定に使用した教科・科目の配点換算後の得点） イ 個別学力検査等の得点 ウ アとイの総合得点及び順位
③ 申請方法 出願手続き時に同時申請	インターネット出願時に個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。
④ 開示期間	令和6年5月1日（水）10:00～5月31日（金）17:00 ※ 開示期間外は閲覧できません。
⑤ 開示手数料	1選抜毎に500円を徴収します。 入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。
⑥ 開示方法	・本学ホームページ(入試情報サイト)個人成績開示サイトより開示します。 ・「氏名」, 「受験番号」, インターネット出願時の「セキュリティコード」を入力のうえ閲覧できます。 ・成績開示までの間, 「受験番号」, インターネット出願時の「セキュリティコード」の管理にはご注意ください。 ※郵送はしません。

個人成績開示サイト開示イメージ

第〇〇〇〇号

令和6年度琉球大学入学試験個人成績通知書

令和〇年〇月〇日

受験学部学科等 人文社会学部 国際法政学科
試験日程 学校推薦型選抜Ⅱ
受験番号 〇〇〇〇〇〇
氏名 ●● ●● 殿

本学入学者選抜試験における貴殿の成績等下記のとおり通知します。

記

ア 大学入学共通テスト得点（合格者判定用得点）

国語（国語）	〇〇〇.〇〇点
地歴1（日本史B）	〇〇.〇〇点
地歴2（*****）	*****点
公民（政治・経済）	〇〇.〇〇点
数学1（数学Ⅰ・数学A）	〇〇.〇〇点
数学2（*****）	*****点
理科1（化学基礎）	〇〇.〇〇点
理科2（地学基礎）	〇〇.〇〇点
理科3（*****）	*****点
外国語（英語）	〇〇〇.〇〇点
大学入学共通テスト（合格者判定用得点）総得点	〇〇〇.〇〇点

イ 個別学力検査等

教科1（面接）	〇〇〇.〇〇点
教科2（小論文）	〇〇〇.〇〇点
教科3（調査書）	〇〇.〇〇点
個別学力検査等総得点	〇〇〇.〇〇点

ウ 大学入学共通テスト（合格者判定用得点）と個別学力検査等の合計点及び順位 〇〇〇.〇〇点 〇〇位

琉球大学長
西田 睦

【開示内容】

ア 大学入学共通テストの科目ごとの得点

イ 個別学力検査等の得点

ウ アとイの総合得点及び順位

◎ 参考情報

◆ ノートパソコン等の必携化について

本学では、高度情報化社会において情報通信技術の活用能力を有する人材を育成すること、情報通信技術を活用し様々な授業方法やメディアを利用した教育を実践すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、令和4年度入学生から、ノートパソコン等を必携としております。ノートパソコン等の性能などについては、本学ホームページに掲載しておりますので、必ずご確認ください。

なお、条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。

【URL】 <https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/curriculum/pc-hikkei/>

また、推奨するスペックを満たすパソコンは琉球大学生生活協同組合でも販売・サポートしています。

【琉球大学生生活協同組合URL】 <https://kyushu.seikyou.ne.jp/ryudai-coop/newlife/>

◆ 学生寮（千原寮）への入寮申し込みについて

学生寮（千原寮）への入寮を希望する方は、「令和6年度琉球大学千原（せんばる）寮入寮者募集案内（新入生用）」（以下「入寮者募集案内」という。）を次の要領で請求し、所定の入寮申請期間内に申請書類等を提出してください。（詳細については、「入寮者募集案内」をご覧ください。）

(1) 「入寮者募集案内（令和6年1月初旬発行予定）」の請求方法

① 学寮事務室（寮務係）で直接受け取ることができます。

② 琉球大学ホームページから入寮願等の各用紙をダウンロードして使用できます。

【<https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/> [学生生活支援情報] → [学生寮]】

③ 郵便による場合は、返信用封筒（角形2号の封筒に、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、250円分の切手（普通郵便）又は510円分の切手（速達郵便）を貼付したもの）を同封して請求してください。

【請求先】 琉球大学 学生部 学生支援課 寮務係（学寮事務室）	〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原 59 番地 電話：098-895-8101・8133
---------------------------------------	---

(2) 入寮申請期間

令和6年2月14日（水）～2月22日（木）（必着）

※希望者は、期日指定郵便を活用するなど、申請・提出を忘れないようにしてください。

※申請は、上記(1)③「学寮事務室宛」の住所へ送付ください。

※選抜区分によっては、入学手続の直後や出願時期に入寮申請を行う必要があります。

出願期間、入学手続期間、入寮申請期間を必ずご確認ください。

◆ 琉球大学生生活協同組合（消費生活協同組合法に基づく団体）によるお知らせ

琉球大学生協では、入学試験及び入学準備に伴う各種支援（教科書教材、パソコン等の学習教材、食生活、アパートマンション等の紹介）を行っており、生協の資料を希望する入学志願者には、各種資料を送付しております。各種資料に関する請求は以下の方法により申請してください。

(1) 本学のインターネット出願時に資料請求する

インターネット出願時に「個人情報入力」の「大学生協への情報提供確認」において「資料送付を希望します」を選択してください。

(2) 琉球大学生協のホームページから資料請求する

下記URL、二次元コードより資料請求が可能です。ホームページでは資料請求以外にも生協の加入手続き方法、パソコン等の学習教材についてもご紹介しております。

【URL】 <https://kyushu.seikyou.ne.jp/ryudai-coop/newlife/>

<二次元コード>

(3) 電話で資料請求する（下記までお問い合わせください）。

琉球大学生生活協同組合 本部 電話 098-895-2620

（9：00～17：00） 土日・祝日を除く



出 願 書 類 等 一 覧

高等学校等から取り寄せる書類		
1	調査書	全員
本学様式指定の書類		
2	推薦書	全員
3	志願理由書	全員
4	競技歴調査書	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修
5	実技動画提出に関する誓約書 (実技動画と一緒に提出 11月22日(水)17:00(必着))	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修
6	実技検査に係る動画提出申請書 (実技動画と一緒に提出 11月22日(水)17:00(必着))	
7	令和6 共通テスト成績請求票・共通テスト受験科目票 令和6年1月15日(月)～1月22日(月) 最終日17:00(必着)	全員
インターネット出願サイトから印刷する書類		
8	出願確認票	全員
9	宛名ラベル 出願書類等提出用封筒角形2号に貼り付けること。	全員
10	宛名ラベル(実技動画提出) 指定の提出物郵送用の封筒(角形2号)に貼り付けること。	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修
その他		
11	住民票の写し	外国籍の者のみ

【出 願 書 類 等 の 記 入 上 の 注 意】

記入に当たっては、本募集要項を熟読し、以下の事項に注意して記入してください。

1. 記入は黒のボールペン(消せるボールペンは不可)を使用してください。
2. 通称・略字等は使用せず、漢字は楷書で、数字は算用数字で正確かつ丁寧に記入してください。
3. 「※印の欄」(受験番号欄、出欠欄等)は記入しないでください。
4. 記入不備がある場合は、受理できませんので注意してください。
5. インターネット出願登録を行い、入学検定料を払込した後の記載内容の変更は認めません。
6. インターネット出願登録を行い、入学検定料を払込した後に、本人及び保護者の連絡先、住所を変更した場合は、直ちに本学学生部入試課(電話098-895-8141)に連絡してください。